

令和3年度幼保小連携推進地区事業

神奈川区 活動報告

大口台小学校 松見保育園

推進テーマ

～自己肯定感を育てる幼保小の交流活動～

▶ 設定の理由

本校は、地域とのつながりを大切にし、まちとともに歩む学校づくりに取り組んでいます。また、本校では、「自己肯定感」を育むことを大切にしています。

松見保育園では、主体性を大事にしていることを知り、保育園で「できる」「知っている」経験を、小学校でも発揮できるカリキュラムを考えていくことで、子どもたちがより安心してのびのびと生活できるのではないかと考えました。そこで、入学前の子どもたちの不安を取り除き、小学校への期待をもてるよう、今までの取り組みを見直しました。さらに、来年度以降新たにどのような交流や活動ができるのか、園と協力して探っている段階です。

活動内容

職員の連携

- 年間計画を立て、子どもたちの学びを共有する
 - ・研修会、情報交換会
 - ・保育参観、小学校授業参観
- 教育備品を見直し、環境を整える

子どもたちの交流

- 年間計画を立て、互いを身近に感じたり、小学校生活の見通しをもてるようにする
 - ・音読発表会
 - ・運動会練習見学
 - ・校内作品展見学

アプローチカリキュラム スタートカリキュラムの見直し

職員の連携①

小学校授業参観（5月）

- ▶ 入学して1ヶ月経った子どもたちの様子を知っていただきました。



ひらがなの学習は、言葉あそびの活動とつながっているな。



紙バックやストローの使い方に慣れておく必要があるな。



コロナ禍で配膳ができなくなっているが、遊びを通して体験したり、年度末には配膳をさせたりしてみようかな。

職員の連携② 保育参観（7月）

- ▶ 保育園でどのような生活をしているのか、様子を見てきました。



お祭りという場を設定することで、子どもたちが主体的に取り組んでいるな。生き生きと活動している様子がとても印象的だった。



生活科の学習とつなげられそう。



時計を見て行動することを園でも始めているんだな。

職員の連携③ 職員実技研修会（1月）

- ▶ 保育園の先生に来ていただき、保育の中で育てている10の姿や、手遊びやゲームについて教えていただきました。



園のカリキュラムについて、初めて知ることができた。園と小学校のつながりを意識したカリキュラムをつくりたい。

1・2年生でもできそうなゲームがあるな。やってみよう！



子どもたちの交流① 音読発表会（7月）

- ▶ 2年生が「スイミー」の音読劇をビデオにとり、保育園で鑑賞してもらいました。自分たちの劇と比べている様子が見られたようです。

長いセリフを言っていてかっこよかった。

誰もふざけてなくて、かっこよかった。



前に保育園にいたお兄さんお姉さんが写っていてうれしかった。



子どもたちの交流② 運動会練習見学（10月）

- ▶ 1. 2年生合同の運動会練習を見学してもらいました。



すごい！
かっこいいね！

ブリッジは
ぼくたちも
できるよ。



園でも「かかし」
や「ブリッジ」等
をやっているの
で、園でできるよ
うになったこと
が小学校の活動
に繋がるのは、
すごくいい。

子どもたちの交流③ 校内作品展出品・見学（12月）

- ▶ 体育館で行われた校内作品展に、出品してもらいました。
- ▶ 見学にも来てもらい、交流をすることもできました。



上手だね。
どうやって描いたの。

絵の具を使って
描いたよ。

久しぶりにお兄さん
お姉さんになれて
うれしいな。



子どもたちの交流④ 年長さんへのお手紙・ビデオ（1・2月）

- ▶ 年長さんが安心して小学校に来られるように、手紙を書きました。
また、春から育てたアサガオの種もプレゼントすることにしました。
- ▶ さらに、年長さんから「小学校生活について聞きたいこと質問集」をもらったので、その答えを動画にしました。



「わたしたちが
助けてあげるから
ね」って伝えたいな。

給食のことを
教えてあげようかな。



成果

- 小学校、保育園で行っている活動が互いに分かってきました。
- 実際に子どもたちの様子を見たり、その場の雰囲気を感じたりすることができたことが大きかったです。
- 子どもたちにとっても、何回か小学校に来られたことは、小学校の様子を知ったり、慣れからの安心感を得たりすることに繋がっていました。
- 紙芝居や絵本など、保育園から小学校へのつながりを意識した環境を整えることができました。
- ICT機器など、今後も交流を行っていくうえで必要なものを準備することができました。

課題

- ◆ 互いの様子が分かってきたところで、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの見直し、実施を行っていきたいです。
- ◆ コロナ禍で制限されている中でも、小学校との接続において必要なことの検討をしていきたいです。（例：給食の配膳、掃除など）
- ◆ 今年度できたことを大事にしながら、さらに、交流の場を増やしていきたいです。（例：アサガオの種を渡して、園でも育ててもらったり、作品作りに活用してもらったりする。）
- ◆ 保護者との連絡の取り方に違いが出てくるため、保護者のサポートについても検討していきたいです。